

製品名: C3C マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81712**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	187.1kDa

抗原情報

遺伝子名	C3C
別名	ASP; C3a; C3b; AHUS5; ARMD9; CPAMD1; HEL-S-62p
遺伝子 ID	718.0
SwissProt ID	P01024
免疫原	大腸菌で発現したヒト C3C (AA: 1521-1649) の精製された組み換え断片。

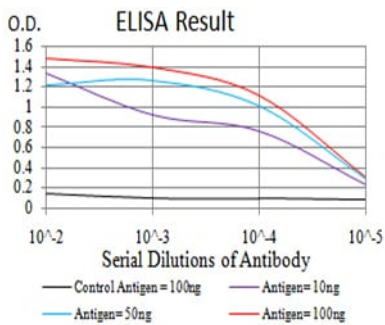
背景

補体成分 C3 は、補体系の活性化において中心的な役割を果たします。その活性化は、古典的および代替的な補体活性化経路の両方に必要です。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって α サブユニットと β サブユニットに分解され、成熟タ

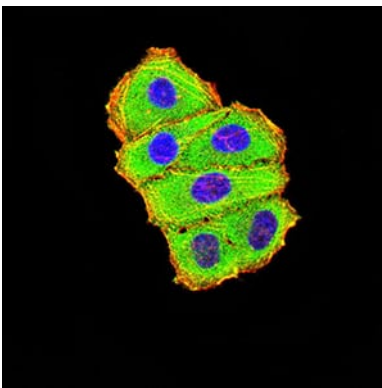
ンパク質を形成します。そして、成熟タンパク質はさらに分解されて、多数のペプチド産物を生成します。C3a ペプチドは C3a アナフィラトキシンとしても知られ、炎症を調節し、抗菌活性を有します。この遺伝子の変異は、ヒト患者における非典型溶血性尿毒症症候群および加齢黄斑変性症と関連しています。

研究分野

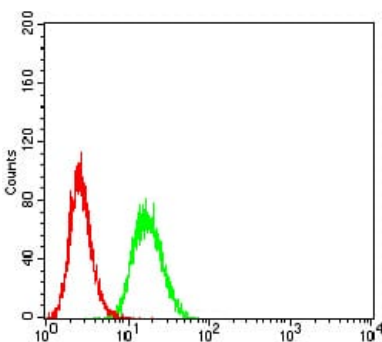
画像データ



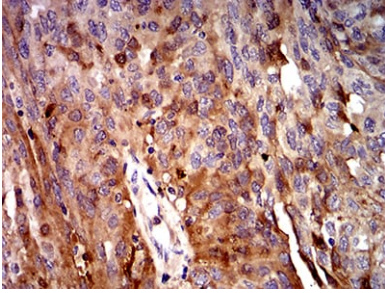
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



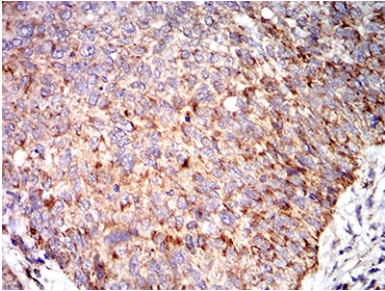
C3C マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



C3C マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



C3C マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



C3C マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。